

要 望 書

平成 31 年 1 月 31 日

苫小牧廃棄物協同組合

苫小牧市長

岩倉博文様

家庭系一般廃棄物の収集運搬業務に関する要望書

平素より、当組合に対しましてご指導とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、政府は一億総活躍社会の実現を目指し、働き方改革推進の取り組みを強めておりますが、この基本的な方向の実現のためには、当組合として、労働環境を整備し人材を確保し育成していくことが不可欠であると考えております。

家庭系一般廃棄物の収集は、戸別化やサークル化によって年々300ヶ所以上のごみステーションが増加しており、収集時間が増大しているとともに、ごみ処理施設が沼ノ端クリーンセンター一カ所となったことから運搬時間も増大している状況にあります。

これまでも増加する時間を作業の効率化によって受け入れてきましたが、このままでは運搬車両の増加と、それに伴う人材の確保、人件費の増大は避けては通れません。

つきましては、協同組合の設立時の目的である、市民サービスの向上と塵芥収集の社会的使命を果たすとともに、安定的で効率的な業務の継続ができますように次の事項について要望いたします。

平成31年1月31日

苫小牧廃棄物協同組合
代表理事 渡辺健治

要望事項

- ①政府が推進する働き方改革に合わせて、収集運搬時間の増大に伴う車両台数を見直すとともに、収集運搬作業に従事する職員の祝祭日の時間外賃金及び有給制度の整備に対応できるように委託金額の大幅な増額に努めていただきたい。
- ②収集運搬作業に従事する職員の賃金については、公共工事設計労務単価の一般運転手と普通作業員を下回らないとするともに、単価が改正された場合は速やかに是正していただきたい。
- ③契約期間中に増加する業務（ステーションの増加、運搬時間の増加等）については、その都度協議し決定するものとし、必要経費については増額していただきたい。

以上の要望事項について、文書にてご回答いただきますようお願い申し上げます。